

広島県社会人バスケットボールリーグ大会規程

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による変更がある場合は、そちらの効力を上位とする

1. 参加資格

- ① (公財) 日本バスケットボール協会 (JBA) に登録されたチーム、競技者
- ② (一財) 広島県バスケットボール協会に登録されたチーム、競技者
- ③ 広島県社会人バスケットボール連盟に登録されたチーム、競技者
- ④ オープン、オーバーエイジ、フレンドリーのチーム区分に登録されたチーム
- ⑤ JBA登録同一チームでの複数参加について
 - 1) 配下選手の多いチームは複数チームとして参加することを認める
 - 2) 年度内 JBA登録同一チームであっても、県リーグ登録チーム間の移籍は認めない
(※同一チームでの複数チーム参加の場合にのみ適用)
- ⑥ 合同チームによる参加について
 - 1) リーグ戦を通して単独チームでの出場が困難なチームは、異なるチームの JBA登録競技者との合同チームでの参加を認める
 - 2) 年度内は同一チームで出場すること

2. 追加登録

選手：随時登録可能。但し、JBAへ競技者追加登録料の納付完了時点で登録完了となる。
チーム：当該年度のリーグ申込締切後は、原則認めないが、理事会で承認された場合は認める。

3. 選手移籍

(一社) 日本社会人バスケットボール連盟 (以下 JSB) 規約を適用
※同一チームでの複数チーム参加の場合は1. で定めた通り

4. ゲームエントリー

ゲーム毎にコーチ、ファーストアシスタントコーチを含め、スタッフ6名以内、選手16名以内の合計22名以内で行う。

5. JBA公認コーチ

指揮を執るコーチはE-1級またはE級以上のJBA公認コーチ資格を有すること。

試合時、コーチ不在の場合は所定の理由書を提出すること。

6. 外国籍競技者ルール 制限なし

7. 競技規則

- 現行の日本バスケットボール協会競技規則を適用する。
- ただし、大会を円滑に運営するため、次の事項は変更する。
 - ゲーム開始時刻5分経過しても、チームがコートにいない、もしくはプレーをする準備の整ったプレーヤーが5名揃わなかった場合、ゲームは没収とする。
 - ゲーム時間は、8分×4P⇒8-2-8-⑧-8-2-8とする。
 - 第4ピリオド終了時同点の場合、延長は行わない。
 - 前ゲームが遅れアップ開始時間が定刻を過ぎている場合、ゲーム終了後30分間アップ時間をとる。

8. 競技方法

- 組合せ表とおりとする。
- 勝ち点によるブロック順位決定について
リーグ方式での各ブロックの順位は勝ち点により決定。但し、棄権実績のあるチームは最下位とし、また昇格は無い。

勝者：3点 引き分け：2点 敗者（ゲーム途中終了を含む）：1点 棄権等：0点 没収：-3点
2回目の没収が発生したチームは、それ以降の大会出場はできないし、それまでのゲーム結果も無効とする。

勝点と同じチームが複数生じた場合は、没収があれば没収チームを下位とする。

勝点と同じチームが2チーム生じた場合は当該チーム同士の勝敗を優先とする。

勝点と同じチームが3チーム以上生じた場合

○当該チーム間の勝ち点が比較できる場合

①当該チーム間の勝点が大なるチームを上位とする。

②当該チーム間の勝点と同じ場合、

ア) 当該チーム間の得失点差（得点-失点）の大なるチームを上位とする。

イ) 当該チーム間の得点数の大なるチームを上位とする。

ウ) 当該チームのグループ内の得失点差（得点-失点）の大なるチームを上位とする。

エ) 当該チームのグループ内の得点数の大なるチームを上位とする。

③上記①、②でも順位が決定しない場合、抽選を行う。

○当該チーム間の勝ち点が比較できない場合

①当該チームのグループ内の全ゲームの得失点差（得点-失点）の大なるチームを上位とする。

②当該チームのグループ内の得点数の大なるチームを上位とする。

③上記①、②でも順位が決定しない場合、抽選を行う。

■昇格・降格については上部の下位2チームを自動降格とし、下部上位2チームを自動昇格とする。

■大会結果（順位）は次年度へ引き継ぐ。

ただし、予備日も含め感染症関連等で全日程終了しなかった場合は、次年度へ順位の繰り越しは行わない。

■順位の繰り越しが出来なかった場合の次年度ブロック編成については、2019年から広島県社会人連盟が開催した全ての大会結果を参考に、連盟側でブロック編成を行う。

9. ボール 対戦チーム間で持ち寄り。但し、両チームの話し合いでどちらかのボールに決めても良い。

10. メンバー表

メンバー表（大会本部指定）を体育館入館後、速やかに大会本部まで提出すること。

忘れた場合は、自身のゲームの前ゲームの第2ピリオド終了までに大会本部が準備するスコアシートにフルネームで記入すること。

11. ユニフォーム・ベンチについて

■日程表の左側チームを白色とし、テーブルに向かって右側ベンチ

12. 表彰 行わない

13. 帯同審判・オフィシャル

■指定された通り行うこと。

■帯同審判・TO割当は、変更の可能性を考慮し、必ず試合当日本部で再確認すること。

■帯同審判、TOは、原則ゲーム開始10分前には準備をし、ゲーム開始に備えること。

■帯同審判員は、割当変更でゲームの審判を担当しない場合でも、そのゲームを研修の場とするため、スコアラーステーブル付近に集合し、派遣審判員の指示を受け研修をすること。

■帯同審判員制度の主旨を理解し、県リーグに参加できる条件のひとつであることを認識し、チームの責任として帯同審判員のレベルアップに取り組むこと。

■帯同審判員を準備できない場合、他チームに協力を要請するなど責任を持って対応し、割当られたゲームが、審判不在とならぬようにする。やむを得ず、帯同審判が準備できない場合、

ゲーム日の前々週の金曜日19:00までに事務局に電話およびメールの両方で連絡をすること。
その場合、次のとおりペナルティーを課すこととする。(1ゲームにつき)

- 1) 前々週の金曜日19:00までに連絡あり → ￥15,000
- 2) 1) を過ぎて連絡 → ￥20,000
- 3) 連絡なしおよび当日申出 → ￥30,000

例) ゲームが5月26日(日)の場合、前々週の金曜日とは、5月17日(金)を指す。

7月15日(月祝)の場合、7月5日(金)を指す。

■日程表と変更が生じた場合、各開催日1週間前～数日前に(一財)広島県バスケットボール協会のHPへ掲載する。

14. 運営委員

別紙参照

15. 年間スケジュール

■チーム登録を受け、競技委員会で決定する。

16. カテゴリー編成

■2019年度実績を基本とする。

■新規チームは最下部からの参入とする。ただし、成績を考慮し上位リーグへ編入の場合もある。
(登録初年度のみの特例とする)

■前年度地域リーグ登録チームについては、1部リーグ1位へ参入とする。

■次年度以降については、入替戦を実施し、カテゴリー編成を決定する場合がある。

■次年度登録を見送ったチームがある場合は、下部カテゴリー上位からの自動昇格とする。

■次年度登録を見送ったチームが1年間休部後、その翌年復活した場合は、ひとつ下の部の1位からスタートとする。2年以上の空白がある場合は、新規参入チームと同等の扱いとする。

17. 注意事項

■棄権する場合、できるだけ早急に事務局に電話およびメールの両方で連絡をすること。

・棄権する場合でも、指定された帯同審判、TO、コート担当業務は行うこと。

・連絡なく棄権した場合は、次年度の登録を認めない場合がある。

・棄権のペナルティーを課すこととする。(1ゲームにつき)

1) 前々週の金曜日19:00までに連絡あり → ￥5,000

2) 1) を過ぎての連絡、連絡なし、当日申出 → ￥15,000

※どのような理由であれ棄権の場合、上記対応とする。

■ベンチにはスタッフ6名、選手16名のみ入ることができ、それ以外はフロア内の観戦はできない。

18. その他

■結果は(一財)広島県バスケットボール協会のHPに掲載する。

■次年度地域リーグ参入希望チームは8月31日までに申請書をJSBへ提出する。

■**当面の間、全日程無観客での実施とする。**

19. 附 則

1. 上記内容で対応出来ない事態が発生した場合は、連盟で協議し対応することとする。

2. 2022年6月1日施行